

夢あわせ

2022

9

Vol.362

JA Matsumoto Highland

Instagram始めました



特集1 おかげさまで30年

特集2 あの人はいま…。

30th

これまでも これからも

ALWAYS

JA松本ハイランド

SNSで旬な情報を発信しています



 JA松本ハイランド

農業夢追人 明科・中川手 市川晃さん

イチゴで地元を盛りあげたい



手塩にかけて栽培したイチゴ



父と2人、イチゴ栽培に取り組む



Profile

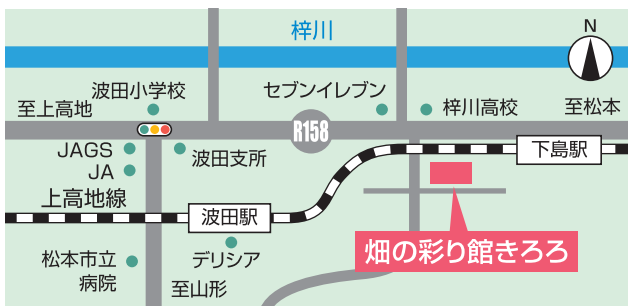
父とともにイチゴ20アールを栽培。自家用の水稲や季節ごとの家庭菜園にも挑戦。お祭りごとが好きで、コロナ禍以前はあやめ祭りや明科の花火大会のイベントスタッフとして毎年、参加していた。

爽やかな空気を体いっばいに感じながら農業に真摯に打ち込む市川さん。イチゴ栽培と介護の仕事のダブルワークを精力的にこなします。「大きな施設だから、父の代で終わらせてしまうのはもったいないと思うんです。父も高齢になってきたし、自分が手伝えたいなと。まだまだ父の足元にも及ばないので、いっしょにできることが楽しいですね」と笑顔があふれます。

3年前から本格的に父の手伝いを開始。収穫時だけ手伝っていたときは変わり、全てをこなすにはまだまだ修行中。「毎年、気温も天候も違うので、苗の生長にあわせて管理するのが大変ですね。自分1人でやれと言われても難しいと思います」と苦笑い。苗が常に一番いい状態であるように毎朝のチェックは欠かせません。「父も自分の目で見て確認していたので、自分もそうありたいなと思って、毎朝ハウスを開けて確認しています。昨年からハウスも増設したのでその分もがんばりたいですね」と意気込み、父と二人三脚でイチゴ栽培に取り組みます。

栽培だけでなく、営業も積極的にこなす市川さん。「地元にある直売所や洋菓子店、和菓子店などイチゴを置いてくれそうなところはすべて回りましたね。ほかに、インスタグラムで情報を発信したりしています。おかげで営業先も増えましたよ」と話します。

イチゴのおいしさを多くの人に伝えようと、今年からハウスの前で直売所をオープン。「その場で食べたお客さんのおいしいと言ってくれるのはうれしい瞬間です。将来的には、イチゴ狩りも始めたいし、加工品も売り出したい。『市川イチゴ園』を地元の観光名所の1つにしたいですね」と目を輝かせ、地元を盛りあげようと情熱を燃やしつつけます。



〒390-1401 松本市波田10331-1

おいしい発見!

旬菜NAVI

煙の彩り館きろろ

地元産の くだもの・肉が勢ぞろい!

いまの時期、店頭には地域で採れたぶどう、なし、りんごなど旬のくだものがたくさん並びます。これからのおすすめは大粒種のぶどうです。また、年間を通じ地元産の信州アルプス牛・岩垂原SPF豚・信州福味鶏を店内厨房でカットし、パックに詰めて販売しております。パーベキューや焼肉の際はお気軽にお申しつけください。当店自慢のお肉で、秋を楽しみつくしませんか？ ストップ同、みなさまのお越しをお待ちしております。



ファーマーズガーデンやまがた ...	☎98-5231	8:00~17:00	} 月曜定休
あかしな ...	☎62-1230	8:00~17:00	
うちだ	☎88-3012	8:00~17:00	
やまべ	☎32-3644	8:30~17:00	無休
煙の彩り館きろろ.....	☎92-6003	9:00~18:00	月曜定休
新鮮市場さきょう	☎52-1965	8:30~17:30	無休

発足30周年記念講演会 組合員セミナー

受講料無料

JA松本ハイランド発足30周年を記念して、組合員のみなさんを対象とした記念講演会を開催します。

講師 小平 奈緒さん(所属:社会医療法人財団慈泉会 相澤病院)

演題 「人とつながる」

開催日 令和4年12月14日(水) 13:30開講 **場所** キッセイ文化ホール(松本市水汲)

申込 令和4年9月15日(木)午前9時~令和4年10月28日(金) *定員になり次第、締め切りとなります

注意点 全席指定席(1階席または2階席になります)

*通常席は、1席ずつ間隔をあけていますが、各列の両端に並びで座れるペア席を設置します。

*座席は抽選により決定させていただきます。申し込み順ではございません。

*ペア席の希望者が多い場合は抽選の結果、通常席となることがございます。

お問い合わせ 組合員文化広報課 電話0263-26-2301

組合員ならどなたでも参加可能! ふるってご参加ください。

申込方法 別紙A4チラシの受講申込書にご記入のうえ、最寄りの支所へお申し込みください。



特集1

おかげさまで30年

JA松本ハイランドは、平成4年9月1日に誕生してから、30周年を迎えることとなりました。これからも、組合員・地域のみなさまとの絆を深め、組合員のみなさまとともに農業と地域に貢献してまいります。



4年 JA松本ハイランド発足

30年の道のり



30周年のキャッチフレーズ“ALWAYS”は、これまでの30年に感謝し、これからも将来にわたり組合員に寄り添うJAであることを表現しました。(職員公募)



JAは、組合員のみなさんの「関心」の多様性を尊重した地域での組織運営の工夫をしております。いっしょに、「協同活動」の輪を広げましょう。

「JAの目的は、組合員・地域のみなさんの「営農とくらしを守る」ことです。そのために、「大きな協同」によるスケールメリットの追求を通して組合員・地域のみなさんに還元してまいります。これからも、さらなる合併効果を発揮してまいります。」

一方、JAの活力は「協同活動」に参加し貢献しようとする組合員のみなさんの意欲に依存します。地域の願いや困りごとを、地域の「小さな協同」で解決することがJAの原点です。組合員・地域のみなさんには、自らの「営農とくらしを守る」ため、より「層」協同活動への参加参加を期待しております。

9月1日は、JA松本ハイランドの誕生日です。今年には30周年、その間3度の合併を経て、3市5村を管内とした組合員数4万人を超える組織となりました。これも、先人の努力と組合員はじめ地域のみなさんの支えがあったからこそと改めて御礼申し上げます。



協同活動の輪を広げよう

代表理事組合長
田中 均



平成

4年 JA松本ハイランド発足

5年 果物の銘柄を「松本ハイランドフルーツ」に統一

6年 婦人部発足(平成8年より女性部に名称変更)

7年 青年部発足

8年 記録的な干ばつ・高温で、水稻・果樹・野菜など被害総額6億7千万円

9年 松本ハイランドブランド米「みどりの風」「夢あわせ」販売

10年 「JA松本ハイランドすいか」のシンボルマーク発表

11年 記録的な大雪で580棟のハウス倒壊

12年 長野オリンピック開催

13年 助けあいネットワーク「夢あわせの会」発足

14年 波田町・山形村松本市南部西部地区に降ひょう

15年 すいかをはじめ果実・野菜などの被害総額30億円

16年 松本市南部地区に降ひょう、被害総額1億3000万円

17年 JA松本ハイランド・JA川手・JA四賀村・JA筑北合併

18年 ファーマーズガーデンやまがたオープン

19年 14年ファーマーズガーデンやまべ、17年ファーマーズガーデンあか

20年 しな、22年ファーマーズガーデンうちだ、27年農産物直売施設「畑

21年 の彩り館きるる」が順次オープン

22年 果実共選所竣工

23年 JA松本ハイランド・JA信濃朝日合併

24年 JAまつり、やまびこドームでの初開催

25年 四賀村が松本市に編入

26年 本城村・坂北村・坂井村が合併し筑北村新設

27年 豊科町・穂高町・三郷村・堀金村・明科町が合併し安曇野市新設

28年 青年部主催「みどりの風ツアー」がNHK「難問解決!ご近所の底

29年 力」で放映

30年 女性部による「軽トラ市」営業開始



17年 JAまつり、やまびこドームでの初開催



12年 降ひょう、被害総額30億円

21年 農産物販売促進隊「美味しさどど

22年 け隊」結成

23年 第一回よい食パク博開催

24年 インターネット上で「ファーマーズ

25年 ガーデン楽天市場店」オープン

26年 波田町が松本市に編入

27年 「JA松本ハイランドすいか」「もも」を香港へ初輸出

28年 JA松本ハイランド発足20周年記念式典

29年 JAいしのまきとの姉妹JA締結

30年 JAさがみと災害時相互支援協定締結

31年 選挙権年齢を「18歳以上」に引き下げる改正公職選挙法が成立

32年 グリンバル東館竣工

33年 オリジナルキャラクター「ゆめピーちゃん」発表

34年 TPP11(環太平洋経済連携協定)発効

令和

元年 東日本台風(台風19号)による記録的な大雨で

2年 千曲川が氾濫、浸水被害が発生

3年 新型コロナウイルス発生

4年 JA松本ハイランド、JA松本市、JA塩尻市合併

5年 管内全域で凍霜害発生、被害総額6億円

6年 東京オリンピック開催

7年 ぶどう部会販売額15億円超えを達成

8年 管内産農産物をデザインしたラッピング高速バスが松本―新宿間で運行開始



21年 美味しさどど隊初結成



29年 通常総代会にてJA松本ハイランドオリジナルキャラクター「ゆめピーちゃん」お披露目



平成4年

JA松本ハイランド発足

松本平・波田町・山形村の3JAが合併し、1992年9月1日、松本ハイランド農業協同組合が発足しました。芳川にあったサンピア松本で行われた発足式には、関係者約280人が出席。松本ハイランドの名称とシンボルマークの除幕が行われ、新JAの発足が宣言されました。



2016年に竣工したグリーンパル東館

平成5年

婦人部(現・女性部)が発足

1993年2月24日、JA松本ハイランド婦人部の設立総会が当時のグリーンパルで開かれ、3月1日に発足しました。設立総会には、旧農協婦人部の代議員ら約130人が出席。仲間づくりや自給率向上、くらしを守る、地域づくりの4つの活動方針を定め、新たな一歩を踏み出しました。



▲新婦人部の発足を決めた設立総会



現女性部を盛り立てる中心メンバー

平成13年

ファーマーズガーデンやまがたオープン

地域の拠り所として、また、地域農業の情報発信基地としての役割を期待し、2001年、ファーマーズガーデンやまがたが開店しました。以降、ファーマーズガーデン4店舗と畑の彩り館きよろ、新鮮市場ききょうの6店舗がオープン。どの直売所でもその地域ならではの農産物がずらりとならんでいます。

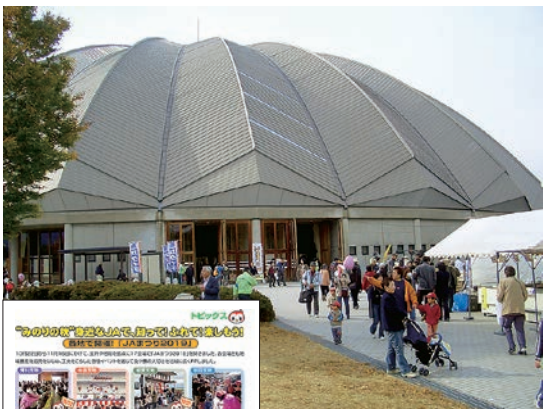


新鮮な野菜をお届けするファーマーズガーデンエクスプレス

平成17年

JAまつり、やまびこドームで初開催

JAのパワーを結集して、組合員や地域のみならず、JA事業をPRするため、やまびこドームを統一会場にJAまつりを開催しました。近年はコロナ禍の影響で中止していますが、支所を拠点に17会場で実施。各会場とも工夫を凝らした各種イベントを通じて食や農の大切さを地域に広くPRしています。



やまびこドームで初開催されたJAまつりの様子



おかげさまで30年

銘柄を統一し、さらなる飛躍を願い「下原すいか」と「アルプスすいか」の2銘柄を「JA松本ハイランドすいか」に統一。さわやかな曲線のなかにすいかの赤を強調したシンボルマークを決定しました。2022年には、選果機の更新にあわせロゴマークも一新。消費者へより一層のPRをすすめていくことと舵を切りました。



▲シンボルマークの発表式



新ロゴマーク

「JA松本ハイランドすいか」シンボルマーク発表

平成8年

旧3JA青年部を統合したJA松本ハイランド青年部が、1994年3月1日、グリーンパルで設立総会を行い発足しました。初代部長に今井の川上清志さんを選出。青年部の存在価値、価値観を見つめなおした、心の活性化をめざした新たな組織として活動を始めました。



▲新部会の発足を決めた設立総会



今後の活動に意気込む青年部

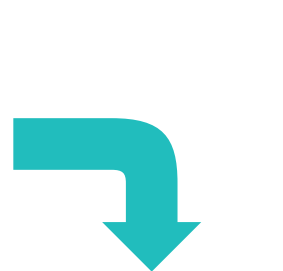
平成6年

青年部発足

平成21年

よい食。パク博

生産者と消費者が地域の食や農業について考えるイベント「よい食パク博」を2009年、グリーンパルで初開催。地産地消料理の大試食会や野菜当てクイズなどさまざまなブースを設け、多くの人々が訪れました。現在は、松本駅前で「よい食ブレゼント」として農産物や料理レシピを同封し、高校生などへ配付しています。



松本駅前前で農産物を配付した

令和4年

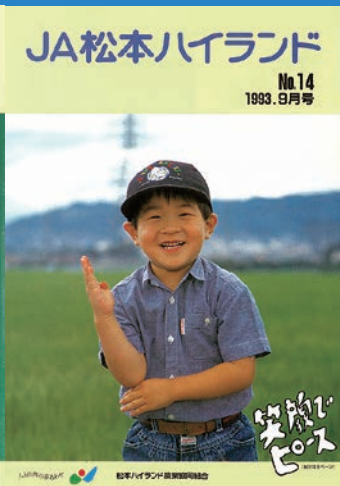
高速ラッピングバス運行

アルピコ交通(株)と連携し、管内産農産物をデザインした高速バスの運行をスタートしました。首都圏の消費者へ地元農産物の魅力をPRすることが目的。色とりどりの管内産の農産物を周囲に飾ったカラフルなデザインで、春夏秋冬にあわせて、年4回回の農畜産物の写真を入れ替えながら運行しています。



お披露目されたラッピングバス(春バージョン)

	夏バージョン 6~8月
	秋バージョン 9~11月
	冬バージョン 12~2月



特集2 あの人はいま…。

発足30周年を迎え、過去に本誌に登場していただいた3人の方を再び訪ねてみました。前回の取材時からの変化や今後の展望など、「これまで」と「これから」についてお話を伺いました。



発足1周年(1993年)「大いなる大地で」に登場

小沢 幸治さん



Profile

自身が中心となり、乳牛42頭、和牛8頭を飼育。小沢牧場のたい肥を活用し、地域の人たちと1ヘクタールの加工トマト栽培にも取り組む。牛たちの寝床、餌箱を整えることから1日がスタート。「生き物が相手なので、365日欠かすことができない、大切な作業ですね」と語る。



獣医師と協力し、繁殖を行った和牛。乳牛とともに牧場で生活しています。牧場で過ごす牛たちが健康で元気に過ごせるよう「最近はいろいろと値段も上がっていますが、病気にならないよう、餌の質にはこだわりたいですね」とたっぷりの愛情を込めて世話をします。

●30年を振り返って

「子育てや牛たちの世話など『命』を考える30年でした。でも、いま思うと楽しいことの方が多かったかな」と笑顔を見せる小沢さん。当時は父の育てていた牛の世話をしていました。結婚を機に経営移譲をし、いまは子牛のころから自分が育てた「自分の」牛の世話をしています。「飼育している責任を持って、健康でおいしく物が食べられる、そんな喜びを牛たちに与えてあげたいですね。その牛たちから、牛乳を分けてもらう、そんな気持ちです」と牛たちに思いを馳せます。

●先を見据えて

「松本で酪農を行う意味や、地域のなかにどう酪農が順応できるのか。50代になって、これからの考える時期が来たのかなと思っています。将来は家族とゆくりとした時間を持てるような、そんな形を模索したいですね」と未来を見据えます。

●JAに期待する点

「経済だけの団体でない、地域のコミュニティの核であることを忘れずに、JA松本ハイランドとして農業をいかに大切にしていくのか。多品目をバランスよく育てている地域として多様な後押しをしてほしいですね」と願いを込めます。

当時からの趣味である、音楽活動を通して奥さまと出会い結婚。いまでも奥さまや高校の同級生とバンドを組み、音楽活動を行っています。「CDを出したり、テレビやラジオに出演したりといろいろなことを経験できました。3年ぶりに開催された松本サマーフェスト2022のステージでも演奏してきました」と笑顔で話します。





Profile

水稲25ヘクタール、麦10ヘクタール、大豆10ヘクタール、蕎麦15ヘクタールを栽培。夢あわせ大学「若妻大学」6期の卒業生として、大学で勉強したことを生かしながらさまざまなことに挑戦。「女性部の旅行や楽しいつどい、地区の行事などこれからも色んなことに参加していきたいね」と笑顔で話す。



12月に女性部新村支部で行われる蕎麦打ち講座では、毎年講師をつとめるほどの腕前です。(株)やまだふあーむで栽培した蕎麦粉を使った講座は人気の活動の1つ。蕎麦打ち名人として今日も、地産地消を発信しつづけます。



青空のもと、順調に生育している大豆。「かわいらしい小さな花が咲くの」とにっこり笑います。趣味で通っているデジカメ教室の仲間にも感動を伝えようと撮影。「なかなか難しくって」と言いつつも、カメラ片手にベストポジションを探します。

発足5周年(1997年)
「クローズアップ～“とき”の人紹介～」に登場
山田 久子さん



●変動の25年

本誌に登場した10年後の2007年「株式会社やまだふあーむ」を設立。水稲・麦・大豆・蕎麦と規模を拡大しながら農業に取り組みます。「地域に耕作放棄地が増えないよう、農地を守りたい」という気持ちでやってきたかな。会社の人、地域の人たちに支えられてやってこれたね」と当時を振り返ります。そんな山田さんとともに地域の農業を支えるのが息子さん。「世代交替わりをしつつ、いっしょに農業しながら、息子にあとを託していく予定と笑顔で未来へのバトンを繋げます。

●女性部活動にも積極的に参加

101人会議のメンバーとして当時から活躍していた山田さん。現在でも女性部のメンバーとして積極的に活動中。25年前、女性部に入って仲間づくりをしたことが、とっても楽しかった。いまはコロナでなかなかできないのが寂しいね。もっと密に活動できるようにになったらいいよね」とほほ笑みます。

●JAに期待する理由

「合併して合理化がすすむなかでも、各組織が生懸命に活動しているので、現場で働く人たちのサポートがしっかりできるJAであってほしい。地域の輪を大切にできる場所をこれからも大事にしていてもらいたいね」と望みを託します。

●15年で気づいたもの

「農業は本当に奥が深い。毎年1年生だね」と話す滝澤さん。夫婦2人、二人三脚で完結できる農業をめざし、日々打ち込みます。「よかれと思ってやったことが真逆の結果になることもあったりして、15年前の自分では気づけない、セルリーづくりの本当の難しさがようやくく見えてきたよ」と苦笑い。近年の極端な気象条件にも対応できるよう、奥さまを中心に「データを蓄積」「熱い思いのなかにも冷静さが加わってきたかな。栽培のデータを積み重ねること、どんなときでも対策が打てるように準備するようになったね」と熱心に語ります。

●変わらぬ思い

持ちつづけたいもの

15年の歳月のなか、当時と変わらずに持ちつづけているのが「農業は自分のなかの柱。なくてはならないもの」という気持ち。明日の農業を見つめながら「この先もこうありつづけたいね」と目を細めます。

●これからのJAに期待すること

「JAがいつでも目線をあわせてむきあうべきは、農協改革ではないはず。むきあうべきは眼前の組合員。なかでも厳格な部門別損益管理に意味を感じません。全職員が誇りを持って働き、かつ、組合員の期待に全力で応えるJAであってほしい」とJAの未来に期待します。

発足15周年(2007年)「農業夢追人」に登場

滝澤 広志さん



松本洋菜部会の部会長を務める滝澤さん。「部会役員に携わることで、販売の奥深さや品質の平準化をめざすなど、とても充実している。生産者とJAが一体となっていものを市場に出荷していきたいという気持ちが強まったね」と語ります。

早朝から「おいしいものを食べてもらいたい」という気持ちで一つひとついねいに収穫。真剣な表情で品質を見極め、出荷します。



Profile

奥さまといっしょにハウス・露地の春作・秋作あわせてセルリー140アールを栽培。1年に1回は奥様と旅行ができる、そんなメリハリのある農業が目標。「自分の農業経営プラスαでいっしょになって、地域も部会も盛り上げていきたいね」と笑顔で話す。



今月の1枚
収穫に大満足



りんごの季節、いよいよスタート

りんご部会は8月12日、管内6会場です早生りんご「つがる」の目揃会を開きました。今年は春先の凍霜害もなく、生育は順調。天候に恵まれたことで甘みもあり、高品質な仕上がりです。同部会今井支部の村山善成支部長は「つがるを筆頭に、いよいよりんごの季節が始まる。高品質なりんごの出荷に取り組んでいく」と意気込みました。



出荷規格を確認する生産者

出荷にむけて規格を確認

ももなし部会なし専門部は8月17日、管内3会場です出荷時期を迎えた「幸水」の目揃会を開きました。目揃会では、販売担当者が今年の販売情勢を報告したほか、営農指導員が持ち込み規格表や見本のなしを使いながら形状や熟度などの出荷基準を説明。今年 は凍霜害もなく生育は順調にすずみ、おいし いなしに仕上がっています。



見本のなしを確認する生産者

園児とじゃがいも収穫体験

朝日支所は8月5日、あさひ保育園の年長児21人を招き、じゃがいもの収穫体験を行いました。園児たちは用意したバケツいっぱいじゃがいもを積み上げ、「顔よりも大きいおいもが採れたよ!」と笑顔を見せました。上條淳宮農生活課長は「農業を身近に感じてもらえるような、いろんな取り組みをしていきたいです」と意気込みました。



じゃがいもを収穫する園児たち

露地デラウェアおまたせ

当JA管内で、露地栽培のデラウェアの出荷が本格化しています。今年は6月から猛暑日が続いたことや、梅雨明け後の戻り梅雨によって栽培管理に苦労したものの、生産者の徹底した管理と7月下旬から好天がつづいたことで、糖度・着色ともに例年通り高品質な仕上がりです。

7月30日には、山辺ぶどう集荷所で、集荷スタートにむけて目揃会を行いました。ぶどう部会の村田厚部会長は「小売店から、デラウェアが欲しいという声も届いてくる。高品質なぶどうを1ケースでも多く出荷していただきたい」と呼びかけました。出荷が本格化した8月8日には、贈答用2000ケースとパック規格1000ケースが同集荷所に持ち込まれました。出荷は8月の盆前後をピークに9月中旬までつづきます。



出荷規格を真剣に確認する生産者



次々と検査されるぶどう



女性通信員からの話題

農業の楽しさ、次世代へ

山形支所は山形保育園の年長園児に農業に関心をもってもらいたいと願い、保育園で人気の夏野菜「スイートコーン」と「枝豆」づくりに取り組みました。8月5日には園児ら40人が参加し収穫を楽しみました。同支所の古畑道晴農家組合長は「種まきから収穫までを体験することが大切。収穫の喜びを感じてもらいたい」と話しました。



協力して枝豆を収穫する園児たち

収穫に夢中

新村支所は8月2日、新村保育園の園児36人を招いてスイートコーンの収穫体験を行いました。両手いっぱいスイートコーンを抱えながら「大きいの採れた〜食べるの楽しみ〜」など収穫を楽しみました。同支所の川久保仁是担当理事は「自分たちが収穫したスイートコーンを食べて農産物のおいしさを感じてもらえたらうれしい」と話しました。



スイートコーンを収穫する園児

女性通信員 島立

たくさん採れたよ〜

島立支所は、8月9日、同支所管内の夢あわせ農園で管内の園児19人を招いてスイートコーンの収穫体験を行いました。ほ場の中を自由に探索しながら収穫。「顔より大きいの採れたよ〜」と両手に大きく育ったスイートコーンを抱えながら喜びの声をあげました。



両手にスイートコーンをかかげる園児たち

女性通信員 聖南

人生の振り返り

女性部筑北支部は7月1日、虹のホール筑北で筑北支部班長全体集會を行いました。班長19人が参加し、館長より新しい形の葬儀やエンディングノートについて学びました。参加者から「自分や家族のためにエンディングノートを書いてみます」との声があがりました。



館長の説明に聞き入る部員たち

女性通信員 聖南

花で心に栄養を

女性部筑北支部は7月8日、あぐり資料センター筑北で花苗の寄せ植え講習会を行いました。部員28人が参加し、会話を楽しみながら5種の花を寄せ植えをしました。参加者からは「仲間と交流ができて楽しくきれいな寄せ植えが完成しました」と喜びの声があがりました。



完成した寄せ植えとならぶ部員たち

女性通信員 明科

備えあれば憂いなし

女性部明科支部とくらしの専門委員会は7月14日、明科支所で長野県砂防ボランティア協会を講師にハザードマップの見方と災害時の行動について学びました。参加者は「災害時は素早く行動する事が大切」と話しました。講習後は「豚肉ともしやしのカレー蒸し」をいただきました。



防災について真剣に学ぶ参加者たち

女性通信員 本郷

仲間と癒しのひとときを

本郷女性部は7月15日、箕輪町にある羽広荘でノルディックin羽広荘を行いました。20人が参加し、風景を見ながらノルディックウォーキングを楽しんだ後、温泉で疲れを癒しました。参加者からは「久しぶりにみんなの顔をみながら、ゆったりできました」と安堵の声があがりました。



ノルディックウォーキングを楽しんだ

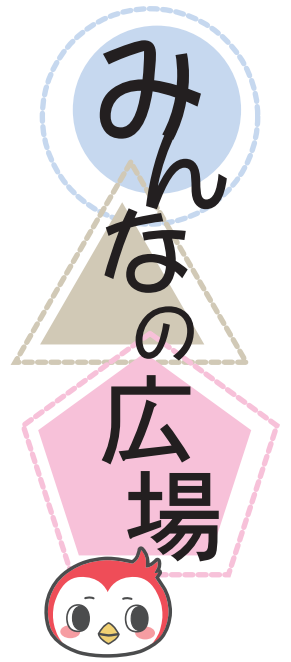
女性通信員 入山辺

短冊に願いを込めて

女性部入山辺支部陽だまりの会は8月5日、入山辺地域交流センターの店舗で七夕の飾り付けを行いました。会員5人が参加し、短冊に「地域のみなさんが健康でありますように」などの願いを書き込み飾り付けました。会員は「初めての試み。店舗の繁栄につながれば」と話しました。



飾り付けた七夕飾りの前でならぶ会員

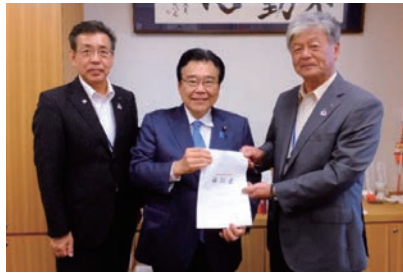


農政運動のあゆみ

生産資材高騰対策を

県選出国會議員へ要請

令和4年8月19日(金)、JA長野中央会・各連合会の神農佳人会長、JA長野中央会の武重正史専務理事らは東京の国会議員会館を訪れ、役員改選に伴うあいさつとあわせ、長野県選出国會議員へ要請を行いました。



要請内容は「肥料価格高騰対策」「生産資材高騰対策」「燃油・電気高騰対策」「飼料高騰対策」「地方創生臨時交付金など地方公共団体が実施する支援の後押し」の5点。肥料価格高騰対策では、価格高騰分の7割を助成する仕組みが措置されましたが、その対象が来年度春肥分までとなっていることから、仕組みの恒久化について要請しました。

福祉だより

ゆめの里今井です

ゆめの里今井は、開所から5年を迎えました。多くのみなさまにご利用いただき、感謝申し上げます。

地域密着型介護老人福祉施設として、長期入居は松本市民のみに限定ですが、ショートステイは地域を限定していませんので、ご希望がありましたらお気軽にお問い合わせください。施設内には、ゆめの里今井福祉相談センターもあります。ご自宅での高齢者福祉介護などについて、何なりとご相談・ご連絡ください。



施設での生活は、入居されるかたが、ご自宅で暮らしていた生活のペースをつづけられるよう、「暮らしの継続」をめざし職員一同努めています。ご自分のペースでゆったり、心身ともに無理なくお過ごしいただけることから、穏やかに、お元気に生活されているかたがたくさんいらっしゃいます。

これからも地域のみなさまから、信頼され、安心して施設をご利用いただけるよう努めてまいりますので、よろしく願いいたします。

ゆめの里今井 (☎07-7612)

ゆめの里今井福祉相談センター (☎07-7691)



JAいしのまき通信

姉妹JA「JAいしのまき」からの旬な情報をお届け!

米の消費拡大をめざし パックごはん4種開発

米の消費低迷がづくくなか、手軽に米を食べてもらおうと、JAいしのまきは管内産の「ササニシキ」と「みやこがね」を使った4種類のパックごはんを開発。4種類をさまざまなシーンで利用してもらうことで、米の消費拡大を狙います。

8月11日に、石巻市のJA農業倉庫で開かれた「第35回JAいしのまき産直市」でデビュー。発売したのは、「白がゆ」「お赤飯」「五目おこわ」「白ぶかし」の4種類。全て管内産の「ササニシキ」を使用しています。「赤飯」「五目おこわ」「白ぶかし」には、もち米の「みやこがね」を配合し、レンジで温めるだけで、ふっくらもちりの食感となるよう試行錯誤を繰り返して完成した逸品。「白がゆ」は「ササニシキ」のやさしい味わいがつたわるよう、米と水の比率にこだわって仕上げました。

同JA管内の営農センターや直売所、管内のインショップで、120円～180円で1個から購入できるよう、個別販売を行います。



新発売した4種類のパックごはん

マイホビー

油絵とともに

生きていく

芳川・村井町北 濱本 ゆり子さん



油絵を始めて50年になる濱本さん。高校でバレーボール部に所属し練習に汗を流していたとき、コート脇で美術部員がキャンバスにむかい自由、無心に筆を執る姿に「感銘を受けた」ことが油絵との出会い。バレーボールの傍らで油絵を始めるも、なかなか思うように時間が取れず、いつしか道具は仕舞われたままになっていました。

ときが経ち社会人になった濱本さんの目に、松本市の油絵講座の記事が留まります。「もう一度油絵をやってみよう」と忘れかけていた油絵への思いが再熱。すぐに講座に参加し学びを深めることで、より「層油絵に魅了」されていきました。

「絵を描きだすと、頭のなかでイメージしている絵とキャンバスに描かれている絵が合致するときがある、その瞬間がうれしい。逆に思ったものと違ったり、どっしりしたらもつとよくなるか一日中描きかけの絵を眺めて考えることもあるよ」と話します。また、油絵を通じて同じ志を持つ仲間にも恵まれ、絵を描きに旅行に出かけることが楽しみのひとつ。「同じものを見ていてもみんな違った視点や価値観を持って描くから、完成すると全く違った絵になるんだよ」と話します。

「油絵があったからいま、こうして楽しんで生きていられる。これからも仲間と前むきな話をしながら、好きなものを好きないように描いて、できれば何か賞がもらえたら励みになるね」と、今日も筆を手にとりキャンバスにむかいます。



ハイランドキッズ

中山寿・内田

大橋 佑生くん (14歳)

奨生くん (4歳)

(父) 幸司さん

(母) 淑子さん

今年初めて家の畑ですいかやじゃがいもを育てたんだ。すいかはとっても甘くておいしかったよ! ナスの収穫をするのも楽しみだなあ。



家族からひと言 素直に元気に大きくなってね。

陸上部で100mを走っていました。いまは受験にむけて勉強に打ち込んでいます。

カブトムシが大好き! 大きくなったらカブトムシの博士になりたいな。



みんなの声

■自宅近くの水路で2年ぶりにぼたるを見ました。感動しました。
(山辺／中澤二雄さん)

■新じゃがのみそ汁、サラダ、煮物、肉巻きは最近わが家の定番おかずです。青じその天ぷらも好きです。
(塩尻／小島マキ子さん)

■子どものころは苦手だった梅干しが大人になって好きになりました。キョンとするすっぱさがおいしく感じます。梅干しや梅漬けを毎日2粒夏バテ防止に食べています。
(芳川／小松博夫さん)

■梅が豊作で、妻は知人にあげたり梅干しにしたりと大忙しです。
(松本／小林弘和さん)

■花梅がたくさん実をつけ完熟した梅が落ちて片づけに奮闘しました。
(四賀／宮原啓子さん)

■JAの直売所で瓶を購入し、初めて新しょうが、梅干し、梅酒づくりに挑戦しました。新しょうがは思いのほか上手にできました。梅干しもできあがりを楽しみます。
(広丘／ふーちゃん)

■梅雨明けが早く急に暑くなり花や野菜に害虫がつき数回駆除をしました。が、キュウリだけがあまり収穫できなかったになりました。白と黄色のモンシロチョウがマーガレット、オイロ草などに集まっています。
(笹賀／三村富美江さん)

■空がギリギリまぶしく、セミの合唱が絶え間なく聴こえ夏本番です。
(麻績／SORAさん)

■今年ほど雑草に苦勞したことはありません。戦いの毎日です。
(松本／スーちゃん)

■猛暑のなか作物は、ほぼ順調ですが草の勢いも負けていません。晴天の草集めは楽ではないですが、収穫を楽しみに取り組んでいます。
(塩尻／赤芝義久さん)

■花卉栽培していたほ場を長年放置して水稲栽培にしましたが、土壌が悪く生育せず苦勞しています。
(島内／竹内吉弘さん)

■畑を少しやっています。気候によりうまくいかないこともあり毎年勉強だと思えます。すいかの実がついてきたので収穫が楽しみです。
(松本／百瀬とく代さん)

■わが家の飼い猫のミーくん。暑さのため食欲がありません。カニカマや小魚は好きらしくペロリです。
(新村／岩間久子さん)

プレゼントクイズ クイズに答えてプレゼントをもらおう!

問題 発足30周年記念講演会

「●●●セミナー」

●に入ることばを答えてね。

ヒントは3ページ!



■8月号のクイズの答え 30

■7月号の当選者

賞品の発送をもってかえさせていただきます。

■応募の締切

10月10日(月) 消印有効

Eメールでもお気軽にどうぞ。

kouhou@mhl.nn-ja.or.jp

お便りをお待ちしています!

身近なエピソード、地域の情報、イラスト、短歌・俳句、赤ちゃん・ペットの写真など、どしどしお寄せください。また広報誌各コーナーへのご質問や感想などもお寄せください。

*作品・写真は返却できません。お便りは、誌面に掲載する場合があります。

*応募で記載された個人情報は「みんなの声」への掲載、プレゼントの抽選・当選発表以外には利用いたしません。

今月のプレゼント
まごころ商品券
(3,000円分)を
1名様にプレゼント



390-8555

(住所不要)

JA松本ハイランド
「みんなの声」係

- クイズの答え
- 住所・氏名・年齢・職業・電話番号
- 身近なエピソード・イラストなど
- 本誌・JAへのご意見・ご要望、参考になった・ならなかった・コーナーなど

みなさんの声を
ひと言添えて
ください

Q

わたしたちの活動も広報誌にのせてもらいたいのですが、どうしたらのせてもらえますか?

A

広報では、掲載する話題や情報の提供を随時募集しています。組合員のみなさんの活動や取り組みなど、広報誌に掲載してほしい内容がありましたら、ぜひご紹介ください。普段の生活のなかで気づく、身のまわりの小さなことが取材テーマになります。「組合員」「農業」「JA」「地域」など、どんなものでもまずはご相談ください。

広報担当者または各支所にいる女性通信員がみなさんからのご連絡をお待ちしております!

お問い合わせ 組合員文化広報課 ☎26-2301

質問をお待ち
しています

JAに対して疑問に思っていること、知りたいことなどみなさまからの質問にゆめピーちゃんがお答えします。上記プレゼントクイズの宛先へご質問や疑問などをお知らせください。





島内支所

島内駅から徒歩1分の島内支所。駅を中心に住宅やマンションが建ちならぶなか、松本市音楽文化ホールやラーラ松本など松本市の施設が数多く存在します。

奈良井川と梓川にはさまれた水が豊かな島内地区では、水稻の栽培が盛んにおこなわれ、自然を肌で感じることができます。支所敷地内には直売所も併設されており、管内外の生産者のよりどころになっています。



今月の支所紹介



講評

空を映していた早苗田が緑濃くなっていく。作者は毎日見ているのでしょう。分けつを入れ込む視点が良いですね。

短歌 早苗から日毎に変わる小さな田分蘗始まり
目みはる緑

ペンネーム／M.M.

講評

沙羅の木は日本の気候では育たないため、日本の寺院では夏椿が代用で植えられているそうです。勉強になる首です。

短歌 夏つばき沙羅とは別と記事にあり驚きで見ると
清し白き花

ペンネーム／桔梗

講評

一匹の蝶の美しさをどのように表現するか。その瞬間をとらえた作者の思いがひしひしと感ぜられます。丁寧な描写ですね。

短歌 ひらひらと小春日和に舞う蝶が白く
映えつつ落ち葉と揺れて

ペンネーム／夏のごい

講評

「フレイル」を初めて知りました。要介護になる前の虚弱状態を意識して予防していくことが大切です。勉強になります。

短歌 雨上がりころぶでないよならいたて
フレイルころかあるあるいいね

ペンネーム／M.M.

夢あわせ大学のカルチャー部門として、昨年6月から今年の1月まで、全8回「通信制短歌教室」を開催いたしました。毎月投稿いただいた短歌のなかから講師の塩尻短歌館藤森田先生の講評とともにおひとり一句ずつご紹介いたします。

わたしたちのJA

理事会だより

令和4年8月30日・グリーンパル 西館

■協議事項

- ①新型コロナウイルス感染症事業継続計画書の改正
- ②組合と理事の契約
- ③農業協同組合上級内部監査士の創設に伴う職員給与規程の改正
- ④本所ローンプラザ改修及び下水道接続工事
- ⑤職制規程の改正
- ⑥令和4年度上半期事業報告・下半期対策
- ⑦中信葡萄加工事業協同組合からの脱退
- ⑧役員選出基準の検討における役員体制検討委員会の開催

■報告事項

- ①令和4年度第2四半期棚卸監事監査の実施
- ②令和4年度第2四半期監事監査の実施
- ③みのり監査法人期中I監査の受け入れ

- ④コンプライアンスプログラムの取り組み状況
- ⑤固定化債権回収状況
- ⑥7月末事業実績・決算結果
- ⑦令和4年度10月支所別総代会の開催
- ⑧(福)松本ハイランドおよび(福)ジェイエー長野会(うつくしの里)の事業報告
- ⑨余裕金の運用状況及び第3四半期余裕金運用方針
- ⑩肥料価格高騰対策事業(国庫事業)
- ⑪虹のホール運営委員会開催結果

JAの状況 令和4年7月末現在

正組合員数	24,426人	貸出金	886億5千万円
准組合員数	15,978人	農産物販売高	50億4千万円
貯金	3.976億5千万円	購買品利用高	59億7千万円

📷 フォトコンテスト2022



募集
テーマ **未来に残したい ふるさと**
~文化 暮らし 伝統 笑顔 農業~

募集期間 10月31日(月)17時まで

お問い合わせ JA松本ハイランド総務企画部
組合員文化広報課 ☎26-2301

詳しくはQRコードより
ホームページをご覧ください。



Instagram 更新中



🍷 山辺ワイナリーだより

平素より山辺ワイナリーをご利用いただきありがとうございます。
さて、3年ぶりとなる日本ワインコンクールが開催され、出品した銘柄のうち7銘柄が受賞することができました。ぜひ、この機会に受賞ワインをお飲みになりませんか？ ワインショップは休まず営業中です！

お問い合わせ 山辺ワイナリー ☎32-3644



👤 日本農業新聞に電子版登場!

日本農業新聞に、いつでもどこでも気軽に読める電子版が登場。8月からは電子版の値下げが行われました。スマホやタブレットで、気軽に日本農業新聞電子版を読んでみませんか。

電子版でできること

- **いつでもどこでも**
スマホやタブレットで好きな時に情報収集
- **過去記事検索**
見逃した記事も、過去30日分さかのぼって読むことが可能
- **クリップ機能**
気になる記事を最大200件まで保存可能
- **紙面ビューアー**
記事ごとに読めるほか、紙面と同じレイアウトでも見ることができる(7日分)
- **文字を調整**
紙面を拡大・縮小できるので、好みの大きさに文字サイズを調整可能
- **紙面を印刷**
すべての面が印刷可能。大事な記事の保存やスクラップに役立ちます。



電子版は
月2,403円
(令和4年8月より)

※登録初月無料

コンテンツもいろいろ

- **netアグリ市況**
全国主要市場での取引結果を即日公開
- **記事カテゴリー**
「営農技術」「ビジネス」「地方版」など、カテゴリーを選んで記事が読める
- **写真・動画**
新しい技術や農業資材を、映像と音声で詳しく紹介
- **アクセスランキング**
電子版で多く読まれた記事トップ5を紹介。注目の話題やトレンドが一目でわかる!
- **特集・連載**
本紙一押しの特集・連載記事のまとめ読みが可能

詳しくは各支所窓口または組合員文化広報課(☎0263-26-2301)まで

緊急連絡先

市外局番は全て0263となります

■自動車共済事故受付(24時間・365日)
☎0120-258931

■プロパンガス(24時間対応)
☎26-3015

■葬儀(24時間受付)
JA虹のホール 芳川:☎85-0022
岡田:☎45-0700
はた:☎92-3414
筑北:☎67-1155
塩尻地区葬祭直通携帯:090-4833-5040



■CDカード(キャッシュカード)
夜間・休日事故受付
☎0120-024040

■JAカード(クレジットカード)事故受付
☎0120-159674(24時間対応)

■ENEOSカード(クレジットカード)
紛失・盗難受付(24時間・365日)
TS3(トヨタファイナンス)
☎052-239-2811

NICOS(三菱UFJニコス(株))

☎0120-159674

くらしの連絡先

■灯油の定期配送
中西部配送基地 ☎47-0105
東部配送基地 ☎36-5206
四賀・川手配送基地 ☎64-4560
筑北配送基地 ☎66-3939
朝日配送基地 ☎99-2018
塩尻配送基地 ☎52-0346

■料理の注文
支所営農生活課

■JAまごころ宅配の注文変更・休止など
生活購買センター
☎0120-157118

■塩尻支所くらしのセンター
(塩尻地区葬儀含む) ☎53-5350

■家電製品の注文・修理
LPガス住設課 ☎26-3015

テレビ松本

毎日放送中!! JAお知らせ番組(15分)
「JA松本ハイランド情報」
6:45、7:30、12:00、18:30、23:30
※変更となる場合があります

JAのホットな話題をお茶の間に!
JA企画番組「JAグリーンタイム」
毎月第一週(日を除き毎日放送各15分)
※変更となる場合があります
9:30、13:30、18:30、22:30

米・KOME通信

令和3年産米の出庫状況
(令和4年8月22日現在)

集荷数量 202,296.0俵
出庫数量 117,731.5俵
出庫率 58.2%

JAカレンダー

9月17日～10月17日

※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、中止・延期とさせていただきます。

■くらしを応援! みんなの相談会

9	21日(水)	土地建物相談会(広丘支所、13:30～17:00、要予約)
	28日(水)	土地建物相談会(グリーンパル東館1階、13:30～17:00、要予約)
10	4日(火)	年金相談会(宗賀地域交流センター、9:30～15:30)
	7日(金)	年金相談会(明科支所、9:30～15:30)
	12日(水)	土地建物相談会(グリーンパル東館1階、13:30～17:00、要予約)
	14日(金)	年金相談会(朝日支所・塩尻支所、9:30～15:30)

※虹のホールへ相談を希望される方は、各施設にご連絡ください。

お問い合わせ 土地建物相談会は資産相談課 ☎88-1314
土地建物相談会 塩尻地区の方は資産相談課広丘支所駐在 ☎53-4781
年金・相続相談は総合相談センターライフサポートプラザ ☎46-1562
年金相談会は各支所金融共済課(年金相談会へ出席される場合は事前にご予約ください)

■組合員組織・生産部会などの予定

10 11日(火) 支所別総代会(～18日)

■廃プラなどの回収日程(廃プラの野外焼却は法律で禁止されています)

9	22日(木)	波田地区(すいか共選所、9:00～15:00、農ビ・農ポリ)
	27日(火)	山形地区(すいか共選所、9:00～11:30、農ビ・農ポリ)
10	7日(金)	新村・和田・神林地区(あぐり資材センター和田、9:30～11:30、農ビ・農ポリ)



おかげさまで30周年キャンペーン 実施中!

キャンペーン期間中に、JA松本ハイランドのガソリンスタンドをご利用いただき、ご応募されたかたのなかから抽選でお肉・お米・ワインなどをプレゼント!

*応募の際は、レシートに記載されている利用日・レシートナンバーが必要となります。
*当選は発送を持ってかえさせていただきます。

キャンペーン期間 9月1日～11月30日

お問い合わせ JA松本ハイランド経済部燃料課 ☎0263-26-2480



ご応募はこちらから!



2022年9月・10月は /

JA直売所のご利用が 15%おトク!



JA直売所(JAカード5%割引実施店舗)で、対象期間中にJAカードをご利用いただくと、ご利用金額合計の10%相当分*をポイント還元!いつもの5%割引と合わせて、15%相当おトクにご利用いただけます!

※還元ポイントの上限は2,500ポイント(10,000円相当)です。



今月の
レシピ提案者



豚肉のぶどうソースがけ

材料(2~3人分)

豚肉(生姜焼き用) —— 200g	☆ソース
塩こしょう —— 少々	ナガノパープル —— 12粒
サラダ油 —— 大さじ1/2	酒 —— 大さじ2
	しょう油 —— 小さじ1
	バター —— 10g
	粒マスタード —— 小さじ2

作り方

- ①ぶどうの皮をむき、半分に切る。(種がある場合は取り除く)
- ②豚肉に塩こしょうで味を調べ、しっかりと焼く。
- ③②を取り出し、ソースの材料をすべてフライパンに入れ、汁気が少なくなるまで煮詰める。
- ④豚肉にソースをかける。

作り方動画



ぶどうの主な栄養素と効果

アントシアニンやレスベラトロールなど、さまざまなポリフェノールが豊富に含まれる。ポリフェノールには強い抗酸化作用があり、細胞の老化のもとである活性酸素の除去に期待できる。



山辺・東桐原 久保田 あづささん

ぶどうの甘さと酸味が、粒マスタードとマッチしてとてもおいしいですよ。皮ごと食べられるぶどうなら、皮をむかずに半分に切るだけでもOK。巨峰やピオーネなどぶどうの味の違いを楽しむのもおすすめです。

